



各 位

平成 18年 8月 4日

会社名 コ ス モ 石 油 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 木 村 彌 一
 (コード番号 5007 東証・大証・名証 第1部)
 問合せ先 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 田 村 厚 人
 TEL (03) 3798 - 3101

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 18年 5月 16日の前期決算発表時に公表した平成 19年 3月期連結中間業績予想及び個別中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19年 3月期連結中間業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 18年 5月 16日 発表)	1,230,000	20,000	3,000
今回修正予想(B)	1,420,000	29,000	8,000
増減額(B - A)	190,000	9,000	5,000
増減率	15.4%	45.0%	166.7%
前期(平成18年 3月中間期)実績	1,203,205	57,169	29,566

2. 平成 19年 3月期個別中間業績予想数値の修正(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成 18年 5月 16日 発表)	1,150,000	5,000	3,000
今回修正予想(B)	1,340,000	4,000	3,000
増減額(B - A)	190,000	9,000	6,000
増減率	16.5%	-	-
前期(平成18年 3月中間期)実績	1,124,071	38,339	22,881

3. 理 由

上記業績予想修正の主な要因は、前回想定(平成 18年 5月 16日公表時)と比較し原油価格が上昇したこと(今回想定 7-9月:原油65\$/bbl、為替115円/\$)に伴い、精製費用の負担が増大することや市況の影響でのマイナス要因に対し、一方で在庫評価の影響で売上原価を押し下げる(前回想定 70億円、今回想定90億円、前回想定比160億円)こと等のプラス要因が見込まれるためであります。

売上高については販売価格が上昇したことにより、連結で1兆4,200億円程度(前回想定比1,900億円増加)、個別で1兆3,400億円程度(前回想定比1,900億円増加)となる見込みです。経常利益は連結で290億円程度(前回想定比90億円増加)、個別で40億円程度(前回想定比90億円増加)、中間純利益は連結で80億円程度(前回想定比50億円増加)、個別で30億円程度(前回想定比60億円増加)となる見込みです。

尚、連結及び個別の通期業績予想につきましては、今後の需要動向や原油・為替及び市況の動向などの変動要因を考慮し精査中であり、現時点では前回(平成18年5月16日公表)予想値を変更しておりません。

(注)上記の業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があることに留意下さい。

以 上